山紫海碧

有銘幼小中学校
学校便り144号
山紫に海碧く
H28.3.3

薬物乱用防止教室in有銘

二月二十四日、五・六年学級で薬物乱用防止教室が開かれました。講師には、学校薬剤師の上原卓朗（うえはらたくろう）先生をお招きしました。

上原先生から「薬には副作用・物があること」、「用法・用量を守って正しく扱うこと」が大事」と説明しました。

また、人間には、病気になったりすると病原菌をやっつけようとする働きで十分な栄養とり休養を取って、抵抗力や免疫力を高めることも大事だと説明してくれました。

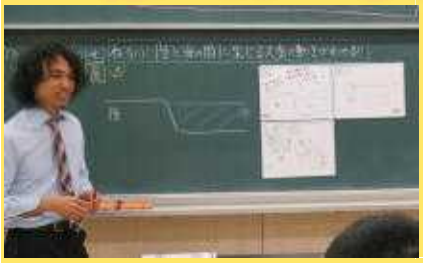
薬を水で飲むか、お茶で飲むかの実験をしてみた。水でとかした薬は透明だが、お茶でとかした薬は真っ黒になった。薬によっては、効果が弱くなったり、毒になってしまうこともあるようだ。

次に、上原先生は、アルコールやタバコ、危険ドラッグなどの子どもへの影響を使ってアルコールに触れ、タバコの怖さ、データのんでいるかを説明しました。

左が正常な脳で、右が十代で脳がアルコールをとってきた脳で、溶かしてしまうのが見えます。

タバコは、殺人毒性の強い危険な覚せい剤やドラッグを使って犯罪を止まらない。

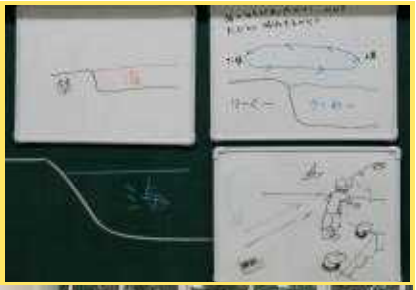
ホワイトボードは第2のノートだ



中二年理科の授業を参観しました。本日のねらいは「陸と海の間に生じる大気の動きがわかる」だ。

三人は、それぞれの体験から昼と夜の風の向きが異なることを説明できた。しかし、昼は海から陸への風が吹き、夜は陸から海への風が吹くことを、どう説明するか迷っていたようだ。

理科は、予想することが大事である。三人で話し合い、推論し、結論を出し合う時間こそとれなかったが、ホワイトボードで分かりやすく説明できた。次回はボードを使い、討論できる授業を期待したい。有銘校でホワイトボードは、学力を高める重要なアイテムである。



お話を聞いて、なぜ、子どもがアルコールやタバコが禁止されているかがわかったようです。

深めたかった時間が足りず、感想を記録して終わりました。

上原先生、ありがとうございました。

ペットボトルとうろう

一・二年生が、ツツジ祭りの夜にライトアップされるペットボトルのとうろうを作りました。

ペットボトルの上部を切り取り、色マジックやシールを、テープをつかって装飾しました。ひとり二個ずつつくり公民館に持って行きます。

提出は三月四日までです。ろうそくは、祭り実行委が準備するそうです。みんなでつくろう。